

2022.

NO.34

令和4年3月

すがな

菅名の里
広報誌

題字 名瀬ツヨシ



秋祭りフォトスポットにて 満面の笑み

編集・発行
社会福祉法人
中東福祉会

特別養護老人ホーム

菅名の里

〒959-1614 新潟県五泉市馬下1814-19

TEL 0250-47-1080(代表)

FAX 0250-47-1082

介護支援センター直通 0250-47-1083

<http://tyutofukushikai.com/>

1年を振り返って

園長 捧 直人



間もなく年度末を迎えるにあたり、日頃からご家族様や地域の皆様、関係機関の方々に多大なるご協力ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染対策に振り回された1年でありました。変動する感染状況の中で常に緊張感を持って、感染意識を維持していくことの難しさを痛感しております。しかしながら今年度も感染対策を最優先としながらも職員の創意工夫で様々な活動に取り組んだ様子を広報誌から感じ取っていただければ幸いです。

令和4年度の幕開けと共に、人々と自由に交流できる日常が戻ることを心待ちにしております。これからもどうぞよろしく願いいたします。

居宅介護支援センター

主任 吉井 理華



「介護が必要になってきたけど、どうすれば良いの?」、「介護サービスを利用したいけど、どうすればいいの?」などお悩みはありませんか? 私たちケアマネジャーは、地域の身近な相談窓口でありたいとも思っています。介護が必要になっても、住み慣れた我が家で望んだ生活を安心して実現することができるように、ご利用者やご家族のみなさん一人ひとりの思いを大切に、もっとも適したサービスをご提案させていただきます。「おもいやり、気配り、笑顔」を忘れずに精一杯お手伝いさせていただきたいと思っております。

在宅介護支援センター

係長 熊倉 久美子



在宅介護支援センターは五泉市からの委託を受け、高齢者が安心して暮らせるよう家庭訪問などを通して日常生活の様々な相談に応じたり、お茶の間サロンなどの地域の集まりやスクエアステップなどの自主運動グループに顔を出し、地域の支え合いの活動を広めたりと介護予防の啓発の取り組みを行っています。これからも地域の高齢者が健康で暮らせるよう介護予防の活動に取り組んでいきたいと思っております。

令和4年度を前に

次長 菊入 理



令和2年度から続く新型コロナウイルスは、未だに先が見通せない状況ではありますが、6月からはワクチン接種を実施し、追加接種についても2月より実施することができました。暗い話題の中にも少しずつ明るい兆しも見えてきているように思います。面会制限が続きご家族の皆様にもご心配をおかけしましたが、今年度は川東小学校との笹団子作り交流会をウェブ開催するなど、新しい生活様式に合わせ、皆様が安心して楽しむことのできる環境づくりに力を入れて参りました。

今後も緊張感を持ちながら、安全な施設づくりにまい進してまいります。今後とも皆様からのご支援、ご協力をお願いいたします。

ショートステイ

係長 赤城 廣昭

今年度単独の班として、ショートステイの活動を行ってきました。

ショートステイ班になったことで、送迎や身の周りの事はいつも同じ顔ぶれでお手伝いをさせて頂いています。

いつも利用されている方からは、「あの人（利用者・職員）いるかな」や「おめさんいたね」「しばらくだったね」という声がお部屋から聴こえてきます。帰る時には、「また来るね」や「お世話になったね」と声を掛けていただく言葉は、職員にとってうれしいかぎりです。

まだ、新型コロナウイルス感染予防のため施設内を自由に行き来することが出来ませんが、引き続き感染症対策をしながら、皆様に満足して頂けるように日々取り組んでいきたいと思っております。



機能訓練

機能訓練指導員 細越 優華

引き続き新型コロナウイルスの影響がありましたが、昨年よりも緩和され、五泉八幡様やラポルテ五泉への外出、五泉市文化展に参加することができました。その他にも季節を感じられる行事に取り組み、ご利用者の皆さんと一緒に楽しみながら作業が行えました。また、ノーリフティングケア(体を持ち上げない介護)については、ご利用者の意向や残存機能を活かすためにどのような支援が必要か話し合いながら取り組んでいます。

これからも皆さんが楽しみを持ちながら元気で居心地良く、日常生活を過ごせるよう支援していききたいと思います。



すがな班



副班長 佐久美 栞

すがな班では、下は70代から上は菅名の里で一番のご長寿である105歳の方まで、27名が生活されています。カラオケで歌うのが楽しみな方、新聞紙で箱を折り職員に届ける事を生きがいとしている方など、過ごし方は様々です。しかし、皆さんに共通していること、それは“出来たことを褒められると嬉しい”という事です。これからも色々なことにチャレンジし、皆さんの素敵な笑顔を引き出せるよう、お手伝いしていきたいです。



副班長 加藤 一生

まだコロナの終息が見えない状態ではありますが、感染症対策をした上で、少しずつ行事や活動が行えるようになってきています。行事や活動を通して入居者様に楽しんでいただくことも大切ですが、すがな班では普段の何気ない関わりの中で入居者様の笑顔を引き出せるよう関わりを持つことを大切にしています。

コロナ禍により面会も思うようにできなくなったことで、ご家族はもちろんですが、入居者の皆様も会えない寂しさがあると思います。自宅で生活することができなくなっても「菅名の里にきて良かった」「菅名の里を選んで良かった」と入居者様、ご家族様に思っただけの事を目標に頑張りたいと思います。

ふれあい班



副班長 瀬倉 由香

今年度もコロナ禍の影響は大きく、そんな状況であるからこそ、入居者の皆さんを少しでも喜ばせたいという職員の想いから、ふれあい班では誕生日会やお楽しみ会の開催など、班の特色を活かした行事計画に力を入れています。日常生活を送られる中で、入居者の皆さんからの「声」を尊重し、その「声」を行事計画へと可能な限り実現に向けて取り組んでいます。

希望が叶った時というのは嬉しいものです。そんな嬉しさを今後も多く感じていただけるよう支援してまいります。



ケアワーカー 本宮 滉也

今年度もコロナ禍の影響により、行事や外出など行動が制限される中ではありましたが、ふれあい班内で入居者の皆様と一緒に取り組める活動を行ってきました。タブレットやDVDなどの動画を使用した各種体操には活気が溢れ、五泉市内の観光地を巡る映像を通して四季を感じ、会話にも花が咲く様子がみられています。

1人ひとりの個性を尊重し、日々の生活に張り合いや生きがいを感じていただけるよう、入居者の皆様と一緒に過ごす時間をより良いものにできるように努めていきたいと思っています。



ひだまり班

副班長 齋藤 泰子

ひだまり班では、感染症対策を行いながらコロナ禍の中でも大切な一日を楽しんで過ごして頂けるようお手伝いしています。

毎朝行う体操で、皆様の体と頭を目覚めさせ一日を気持ち良く過ごせるように心掛けています。また、調理レクリエーションや作業活動に参加して頂く事で笑顔を引き出せるように取り組んでいます。

これからも皆様が気持ち良く楽しみながら過ごして頂けるようにご支援させて頂きます。



ケアワーカー 高野 源暉

コロナ禍になり2年が経ちましたが今も感染の恐れから、入居者の方々は外出も多く行えず窮屈な生活を送っていたと思います。その様な中でも四季を感じられるように毎月生活スペースを飾りつけ、季節の物を食べてもらい気持ちが暗くならないように工夫してきました。特に秋にきのご鍋を作りましたが、多くの入居者の方が笑顔で美味しいと食べられていたのが大変うれしかったです。

これからも施設の中においても季節を感じられる生活を送ってもらえるように様々な計画をしていきたいと思っています。



副班長 伊藤 ルリ子

パズル・ぬり絵をはじめ、利用者様の能力に合わせ参加できる活動を行っています。

今年度より、外販でのお菓子の購入の機会を設けました。その他に『感謝祭』としてご本人様の写真と感謝の気持ちを込めた記念品をお配りしました。いずれの行事でも皆様のもても嬉しそうな表情を見ることができました。

まおろしの郷ショートステイがなくなり、まおろしの郷を利用していた方が菅名の里を利用するようになり、毎日たくさんの方の利用があります。「菅名の里にまた行きたい」と言っただけのような施設を目指し、職員一同努めていきたいと思っています。



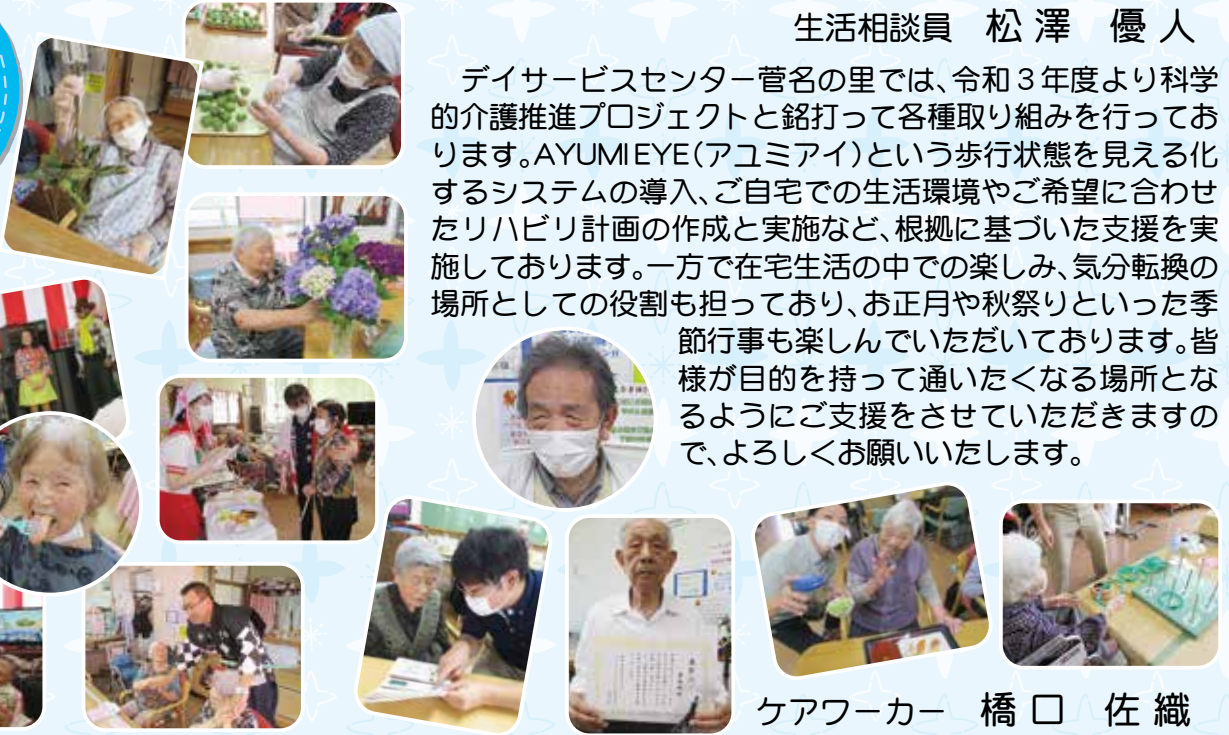
ショートステイ班



相談員 高橋 陽介

菅名の里ショートステイを利用してご利用者、ご家族共に「良かった」「楽しかった」「体・気持ちが楽になった」と思っただけのようなサービスを提供させて頂いております。コロナ禍で出来る事も限られていますが、その中でも楽しんでいただけるように、生活にハリがでるよう感染対策し行事を行っています。これからも愛される菅名の里ショートステイを目指していきます！

デイサービス
センター
菅名の里



生活相談員 松澤 優人

デイサービスセンター菅名の里では、令和3年度より科学的介護推進プロジェクトと銘打って各種取り組みを行っております。AYUMIEYE(アユミアイ)という歩行状態を見える化するシステムの導入、ご自宅での生活環境やご希望に合わせたりハビリ計画の作成と実施など、根拠に基づいた支援を実施しております。一方で在宅生活の中での楽しみ、気分転換の場所としての役割も担っており、お正月や秋祭りといった季節行事も楽しんでいただいております。皆様が目的を持って通いたくなる場所となるようにご支援をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

ケアワーカー 橋口 佐織

新型コロナウイルス感染症の流行がまだまだ油断できない中ではありますが、そんな中でも菅名の里デイサービスでは皆様に来てよかった、楽しかったと思っただけけるよう、人とのふれあい、他者との交流や心身機能の維持を目的として取り組み、季節ごとの行事や認知症予防のレクリエーションなど行っています。また、今年度はファイヤースティックを導入し、ユーチューブ動画で体操や脳トレを行い、昔の歌番組や時代劇などを流して懐かしんでいただいております。今後も皆さんが笑顔でデイサービスに通っていただけるよう努めて参ります。

ご意見箱について

菅名の里・まおろしの郷では、玄関に「ご意見箱」を設置しています。皆様からのご意見、ご要望等幅広くお受けしております。お気づきの事がありましたらご利用ください。

福祉サービスの苦情相談窓口のご案内

あなたの声(疑問や不安、要望、苦情など)をお聞かせください。

サービス内容が
説明と違う

職員の態度や
言葉に傷ついた

約束を
守ってくれない

など

私たち福祉サービス提供者は、常にサービスを利用される皆様からの意見や苦情に耳を傾け、より良い福祉サービスの提供に努めております。

私たちの提供するサービスについてのご意見、ご要望、苦情等は遠慮なく苦情受付担当者、第三者委員にご相談ください。

苦情解決担当者				
	特養 菅名の里	ショートステイ 菅名の里	デイサービス 菅名の里	特養 まおろしの郷
	(0250) 47-1080			(0250) 47-1070
苦情解決責任者	捧 直人			
苦情受付担当者	菊入 理			苅部 貴子
苦情解決第三者委員 (令和4年4月1日～)				
第三者委員	西川 和明		(0250) 47-2652	
第三者委員	高橋 三和子		(0250) 22-1562	

※上記のほか、国保連、市町村窓口へ申し出ることができます。

編集後記

新型コロナウイルスが流行し始めて、すでに2年が経ち、ワクチンが普及しても、終息の目途は立たず、暗いニュースばかりの1年でした。この1年も去年同様、入居者・利用者の皆様には、様々な制限があった中で、我慢を強いられることが多かったかと思えます。そのような中で、行事の際には、感染症対策を十分に考慮し、取り組み、皆様の笑顔を見ることができ、職員一同、嬉しく思いました。1日でも早く、コロナ流行前の日常が戻ることを願い、皆様の笑顔をより引き出せるよう努めていきたいと思えます。

ケアワーカー 阿部 麻衣

広域型特養
まおろしの
郷

広域型特養になり、慣れるまで、当初はドタバタしていましたが、今では皆様の笑顔も多くなったように思います。

まおろしの郷では、毎日の日課として昼食前の軽体操やお口の体操を行っています。また、レクリエーションや作品作りを行う機会を設け楽しんでいただいています。

ここ何年かコロナウイルスの影響で外出や、面会の制限により、入居者が楽しみにされていることが減ってしまいましたが、調理レクや季節の行事などを企画し、入居者の楽しみに繋がるように工夫しています。これからも入居者の笑顔が絶えないようサポートしていきたいと思っています。

さくら班班長 熊倉 大輔

9月30日でショートステイが閉所となり広域型特養となりました。閉所の際過去の写真を行事に使用していたところ、過去の特養の写真を多く目にしました。前年度、今年度とコロナウイルスの影響により、外出やご家族を招いての行事、面会の制限など入居されている皆様の楽しみが減っている事を改めて痛感しました。そんな中でも何か楽しみを提供したいと考え、余暇時間を設けたり、調理レクで作り

り食べる楽しみ、制限はあるもののちょっとした外出など取り組んでいます。

今後も生活の支援はもちろん、楽しみのある生活を提供できるよう努めていきたいと思っています。



ビデオ通話による面会について

昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの感染拡大防止措置としての面会制限への取り組みにご理解・ご協力を賜りありがとうございます。菅名の里・まおろしの郷では、ビデオ通話アプリ『Skype (スカイプ)』の他に、令和3年5月より無料通話アプリ『LINE (ライン)』のビデオ通話機能によるオンライン面会を導入しております。

窓越しでの面会も随時受け付けておりますが、直接来所しなくても入居者の顔を見たい、お話したい、すぐに伝えたいことがある等の場合にはオンライン面会を是非ご活用ください。導入をご希望される方、窓越しでの面会をご希望される方は菅名の里・まおろしの郷までご連絡ください。



ブログ等のご案内

施設での暮らしやお出かけ、行事の様子を「菅名の里ブログ」「まおろしの郷ブログ」に掲載しています。

また、今年度よりSNS (ソーシャルネットワーキングサービス) の『Instagram (インスタグラム)』も開設しております。

情報は随時更新しています。ぜひご覧ください。

<http://tyutofukushikai.com/>

ブログQRコード



菅名の里



まおろしの郷



Instagram QRコード



菅名の里



まおろしの郷



Instagram
公開画像より

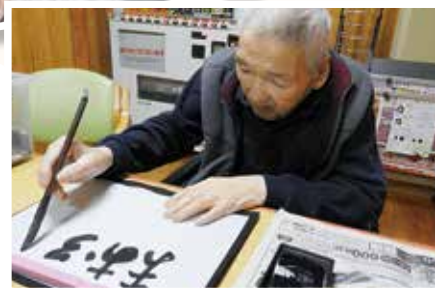


次長 苅部 貴子

平成22年地域密着型特養とショートステイを併設し事業を運営していましたが、令和3年10月ショートステイ14床を特養に転換し、42床の広域型特養となりました。

新型コロナウイルス感染対策を継続し、制限のある中ではありますが、「今できること」を工夫しながら行事や活動、ご家族との面会など取り組んでおります。

今まで培った「まおろしの郷のケア」を更に充実させ、落ち着いた雰囲気の中で入居者の皆様に寄り添い、ご家族の皆様に安心して頂けるように職員一丸となり、今後も進化を続けていきたいと考えております。



まおろしの郷

管理栄養士 成澤 麻衣

まおろしの郷は令和3年10月より、特養入居者が28名から42名に増え、広域型特養として再スタートしました。人数が増えたことにより、より一層賑やかな雰囲気になり、「これが食べたい」「～が作りたい」など食事の嗜好や調理レクと言った活動行事に対し、様々な意見が聞けるようになりました。栄養士として入居者の意見を尊重し、皆様の笑顔が絶えなく、食を楽しんでもらえるような取り組みの工夫ををこれからも行っていききたいと思います。



～地域密着型か



もみじ班班長 清野 愛

令和3年10月1日より、広域型特養となり42名の入居者が生活しています。1か月、2か月と慌ただしい日々が過ぎ、3か月目を迎えたころには、職員の表情にも穏やかさが戻り、入居者も笑顔やほっとしたような表情が増えたように感じます。

日々の関わりから、入居者の思いやご家族の思いに寄り添い、その人らしさを大切に生活ができるよう支えていきたいと思っております。『まおろしの郷で良かった』と思っただけのような施設となるよう努めていきたいと思っております。



主任 ケアマネジャー 酒井 健明

看護師 石月 修

令和3年10月1日、まおろしの郷は広域型の特養へと新しく生まれ変わりました。

地域密着型の特養ではなくなりましたがこれまで築いてきた地域の方々との関わり、繋がりを今後も変わらず大事にしながままおろしの郷のサービスの質の向上に努めていきたいと思っております。

感染症は未だ予断を許さない状況ではありますが、その中でも入居者が「自分らしく」まおろしの郷で暮らせるための支援を日々考え精一杯支援させていただきます。これからもどうぞよろしくお願い致します。

10月より広域型特養になり、入居者が14名増え慌ただしい日々でしたが、現在は少しずつ落ち着いてきているように感じます。

3月に病院を退職し、4月から施設に勤務していますが、まだまだ学ぶ事がたくさんあると日々感じています。高齢化が進む中、施設の存在はとても大きいです。施設の看護師としてはまだまだ未熟ですが、これからも入居者とそのご家族に寄り添い、スタッフ間での情報共有を図り、よりよい介護が提供できるよう心掛けていきたいです。

11周年

再スタート!!



機能訓練指導員 山田 絢子

4月から育休復帰とともにまおろしの郷へ異動してきました。今年度は介護報酬改定や広域型特養への転換などもあり、公私ともに再スタートを迎える場面があった1年でした。

日々のリハビリの中で、入居者の諦めない姿勢を近くから見つめ、「~ができるようになりたい」が「できるようになった」場面に立ち会う事もできました。機能訓練指導員としてとても嬉しい一場面でした。これからは入居者の希望を汲み取り、豊かな気持ちになれたり、実りのある生活を送って頂けるように支援していきたいと思っております。

ら広域型特養へ~



ケアワーカー 志田 美樹

まおろしの郷に入職してもうすぐ1年が経ちます。私は約半年間ショート班として利用者に関わってきました。最初は慣れないことも多く、戸惑うこともありましたが、少しずつ自分の顔と名前を覚えてもらえるようになり、利用者との会話をより楽しく感じるようになった気がします。10月からは広域型特養となり、今までの業務と変わった部分もありますが、分からないことや心配事があれば優しく教えて下さる職員の方がまおろしの郷には沢山いるので、とても心強いです。入居者の想いに寄り添えるよう、日々多くのことを吸収し成長していきたいと思っております。



2022.
NO.34
令和4年3月

まおろし

まおろしの郷
広報誌

題字 相田 巖



桜満開のまおろしの郷にて

編集・発行
社会福祉法人
中東福祉会

特別養護老人ホーム

まおろしの郷

〒959-1614 新潟県五泉市馬下1429
TEL 0250-47-1070(代表)
FAX 0250-47-1072

<http://tyutofukushikai.com/>